

—未来をひらく—

竜爪山 九条の会

りゅうそうざん
きゅうじょうのかい

会報 2019年1月発行 通巻38号

発行／竜爪山九条の会・事務局

〒420-0812 静岡市葵区古庄3-19-34 五井卓方

TEL・FAX 054-264-4918

E-mail ryusouzan9@gmail.com

URL <https://ryusou9.jimdo.com>

改憲案の発議を阻止しましょう

—五井 卓—
(古庄)

明けましておめでとうございます。

第二次安倍内閣発足以来、武器輸出三原則を事実上無効とする防衛装備移転三原則・立憲主義をないがしろにする集団的自衛権容認などの閣議決定、安全保障関連法・秘密保護法・共謀罪等の強行採決。専守防衛とは掛け離れた護衛艦を空母に改修等に見られる軍事費の異常な拡大（右肩下がりがりだった防衛費は2012年第二次安倍内閣発足後増加に転じ、12年に4兆7千億だった防衛費が19年には5兆3千億に増加）と、安倍首相は数の力で次々と悪政を重ねてきています。憲法を守る我々の運動にとって、まさに外堀、内堀を埋められたかに思えます。

さらに、去年は、厚生労働省のデータ捏造、財務省の森友学園関連公文書改竄、文部科学省の教育現場への介入、そして防衛省のイラク日報隠蔽など、国民が最も知りたい問題であり、以前ならば内閣が吹っ飛ぶような問題が数多く起こりながら、それらには全く無視し続けています。

そしていよいよ安倍首相は念願であった、本丸憲法改悪へと攻め込もうとしています。

自民党改憲案は「改憲4項目」、①9条の改正、②緊急事態条項の追加、③教育の充実（無償化）、④参院選合区の解消、としていますが、本命は9条の改悪と緊急事態条項。首相が主張する9条へ自衛隊を明記すれば、「後法優位の原則」から1項2項は無効化され、自衛隊は集団的自衛権行使により米軍の従属下で世界中で戦争のできる「軍隊」になっ



絵馬制作 瀬名・弁天愛護会
絵 河野 修治さん

てしまいます。さらに、緊急事態発生時立憲的な憲法秩序を一時停止し、人権を制限してでも政府への強度の権力集中する緊急事態条項が加われば、日本国憲法の三原則『国民主権、平和主義、基本的人権の尊重』のすべてが崩壊してしまいます。

昨年自民党は臨時国会で、憲法審査会に「自民党改憲案」を發議しようとした。しかし、3000万署名など多くの国民の反対により断念せざるをえませんでした。共同通信の世論調査でも憲法改定賛成は37.6%反対は52.8%。改憲案を臨時国会に提示できなくてよかったは、産経新聞の調査でも55.4%にのぼっています。

まさに「道理は我々にあり」です。

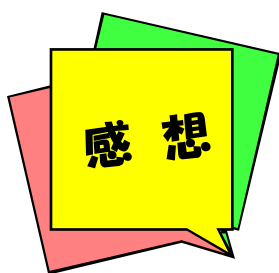
多くの人に日本憲法の素晴らしさ、憲法を守る重要性を訴え、安倍首相が通常国会に改憲案を發議することを阻止しましょう。

学習会を2回、開催しました。

一回目は2018年9月2日（日）、片野修治さんを講師にお招きして『あなたのルーツは縄文人？それとも弥生人？』というテーマで開催しました。

二回目は2018年10月28日（日）、国際政治学者の畑田重夫先生を講師にお招きし、テーマは『どう見る？大きく動く北東アジアの情勢について』でした。会場はいずれも西奈生涯学習センター・第一集会室。

感想をお二人の方に書いていただきました。



私は86歳。何を聞いても、右の耳から左の耳へ通り過ぎてしまいます。しかし、片野さんの縄文のお話があまりにも面白くて、歴史へのアンテナは確実にピーンと広がりました。お話の最後に、縄文時代のクジラ漁を寸劇風に、福島弁で語られた父と子の会話はケッサクでした。片野さん、ありがとうございました。【山根 いね】

感想を頼まれましたが、恥ずかしながら、肝心な内容は何も覚えていないのです。ただ、畑田先生が冒頭でおっしゃったことには、深く共感しました。先生はこうおっしゃったのです。「70代は毎年、毎年、老いていきます。80代になると毎月毎月、老いていきます。そして90代になると毎日毎日、老いていきます。私は95歳になり、珍寿を祝っていただきましたが、

日々実感しております。」

学習会のレジメに“学習は実践への情熱と勇気の源泉である”と書かれていますが、「学びなさい。学び続けなさい。」というお言葉は私の記憶にしっかり刻みつけたつもりです。【匿名希望】

※珍寿は、95歳のお祝い。珍の字の偏、「王」を分解すると「一」と「十」と「一」で12、珍の字の旁を分解すると「八」と「三」で83。
 $12 + 83 = 95$ 、という字解きだそうです。

老年世代が署名活動やビラ配りをしていて感じること。

— 宮 秀雄（古庄）—

市民の大部分がなかなか署名してくれない。とりわけ若い世代は署名してくれないどころか宣伝ビラを受け取ってくれさえしない。いったいこれは何故だろうか？

1962～64年頃、私は学生時代に東京山手線の主要駅で「原水爆禁止反対運動」の一環として署名、募金運動をしたことがある。多くの市民が署名を喜んでしてくれたどころか、「学生さん頑張ってください」と募金もたくさんしてくれた。そのお金だけで私や学友は京都や長崎での「原水爆禁止世界大会」の交通費や諸費用を賄えたほどだった。

フランスでは黄色いベストを着て若者が中心となって物価値上げ反対のデモで政府に抵抗している。フランス革命で血を流して王制を倒し、ナチスの占領に地下抵抗運動（レジスタンス）で解放を勝ち取った歴史を持つ国民だなあ、と。

韓国では多くの若者まで参加した100万人以上のデモ、大衆運動によって朴政権を倒し、代わって文政権を誕生させた。文政権は南北の緊張緩和、平和構築に全力を尽くしている。

アメリカでも大統領選挙戦では社会格差と教育費の高騰に怒る「オキュパイ運動」に始まった民主的な政権を望む若者を中心に「民主社会主義者」を自称するバーニー・サンダース候補者を支持する運動が盛り上がった。

エジプト、チュニジアなどのイスラム文化圏でも若者を中心に独裁政権打倒の運動が起きた。

翻って日本ではどうか？

日本ではハロウィーンや年越しのカウントダウンに集まる若者パワーがなぜ辺野古に向かわない？「寄り添う」と言いながら、踏みにじる、押しつぶす。聞くふりをするだけで、聞き流す。何をしでかしても謝らない。こんな安倍政権がなぜ6年も倒れないのか？これはなぜか？私なりに分析してみる。

戦後の一連の民主化は短命に終わり、「逆コース」以後の日米の保守反動勢力の巻き返しの嵐が吹きまくった（レッドパーズ、岸を始めとする戦犯の追放解除等）。教育界

へも「民主教育」「主権者教育」に対する猛烈な攻撃～それは未だに連綿と続いているどころか、むしろ年々強化されてきている。彼らの意図が成功した結果だ、と言わざるを得ない。

厳しい教科書検定、組合つぶし～教員統制～物言わない教師づくりに成功した。その結果、自分の意見を表明、発言しない、できない、考えない子供達、若者たちを作ること成功した、とも言えよう。

敗戦直後の私の小学校時代の担任教師（背広がないので国民服を着ていた。女性教師は全員モンペであった）からは「納得ゆくまで討論せよ、議論せよ、自分の意見を言え、これからは民主主義の国になったのだ、君たちが主人公なのだ。君たちは納得できないこと、理不尽なことには黙ってはいけぬ」と。そして「僕は徴兵されて戦場に狩りだされたが運よく生き残った。天皇制政府に騙された。君たちはたとえ権威、権力を持ち高い地位にある人の言うことでもそれに盲従、盲信してはならない。」と情熱的に教えられた。教師の影響は大きい。私の思想、生き方の原点を作ったのは彼の影響である。

所得が低い人ほど高い税率を負担させられる「逆累進課税」の典型である「消費税アップ」を安倍政権が宣言してもフランスのような大きな反対運動が起きてはいない。

民主的な税制の原理の一つに「応能負担の原則」がある。「国民は担税能力、つまり所得、収入に応じて負担する」ということである。この原則から「累進課税」制度を各国で成立させた。この税制は所得の再分配機能を持ち格差の小さい社会の形成に役立つ。消費税はこの原則に反している。

戦後の日本も「シャープ税制」によって富裕税、累進課税制度ができた。しかし歴代の保守政権はこれの破壊作業をしてきた。権力者は言う「消費税こそ公平、公正で、税逃れがしにくい民主的な税だ」と。こんな嘘、デマに騙されてはいけぬ。

非正規、低賃金で、不安定就労者として年金や健康保険料さえ払えない若者が増え続けている。小泉、竹中路線による「新自由主義政策」による一連の諸改悪の結果、社会に貧困層の増大と階層格差の拡大が進行している。

その結果として結婚して家庭を持ち子供を育ててゆく、という人間として当たり前の人生設計が持てない、持たしてもらえない彼らが消費税アップの一番の被害者であるのに。消費税反対の署名さえしてくれない。

安倍政権は大企業と富裕層には膨大な減税をしてやり、大企業の内部留保は100兆円積み上がった。貧富の差はますます拡大し続けている。アメリカの兵器の「爆買い（5年間で約30兆円）」のために社会保障を犠牲にしながら「財源が足りない」と言って消費税を増税する。

「パナマ文書」で大企業や富裕層の脱税～蓄財のあくどい手口の一端を知るにつけ、弱者や国民一般大衆に失政のツケ（国の財政の赤字、1000兆円＝世界一の借金国家）を負わせる安倍政権の狡猾な冷酷さ。オリンピックや万博どころではない。

学校教育の目的は「健全な批判能力を養う」ことである。それは弱いものをいじめる

ということではない。権力者の行動や発言を監視し、冷静に批判する勇気と能力を持つことである。議論もせず他人の目を気にして空気ばかりを読もうとする集団や社会は進歩、発展ではなしに逆に腐敗と墮落をもたらす。安倍政権の閣僚や日本会議を始めとする人たち、陣営は戦前の歴史を否定しない、できていない。歴史を正確に認識しその失敗から謙虚に学ぶことができない人たちである。

政治権力者は教育機関を大衆洗脳のための道具として活用するために全力を尽くす。教科書から自分たちに都合の悪い歴史、事実を削除したい。問題意識、政治意識を持ち権力のいう事に従順ではない教師には圧力をかけ、駆逐の対象とする。古今東西、権力者の考えることは同じである。

生徒の知的好奇心を衰退させ無気力で政治的無関心な有権者、おとなしくて物言わない、疑問を持たない、怒らない若者がこうして作られてゆく。結果、ビラを受け取らず、署名はしない若者、市民が増える。政治権力者や財界は薄ら笑いを浮かべて喜んでいる。「しめしめ、うまくいっているぞ、ウッシッシ、おとなしい国民、特に若者を作ること成功しているぞ」と。「次はどんな手で行こうか?」と。

以上私見を少し述べたが現象の根、原因は深い。

マーベル映画ブームに思う

—富田 家一郎—
(瀬名)

マーベルが主人公の映画が話題になっている。マーベル・MARVELとは“不思議なもの、驚くべきこと(人)、怪傑”などの意味がある。例えばスパイダーマン、バッドマンであり、孤軍奮闘、孤立無援に描かれている、と感じる。また、庶民との関係も濃厚となっている。ちなみにスーパーマンは異星人なのでマーベルではない。

ところが、最近のマーベル(X・MEN、アイアンマンなど)は、超・超能力を持ち、変身可能、異形人などに描かれている。それだけでなくグループ・一族を形成し、権力者かそれとつながりのある存在が多い。私には、このようなマーベルは、同じ人間でありながら、極・極少数のエリート存在として、現在の貧困格差の象徴としての1%の富裕層を連想してしまう。彼らが富裕層なのは超能力を持っているからだ、と主張しているかのようだ。そんなわけで、最近のマーベル映画はCGなど駆使してスピーディで面白いところもあるが好きになれない。

もっと気楽に見なさいと言われそうですが、皆さんはどうですか。



霜柱(しもばしら) 別名、雪寄草(ゆきよせそう)
冬になると、枯れた茎の根元に”霜柱”
のような「氷の結晶」ができる。

<http://www.hana300.com/>より転載

あなたの命はあなた一人のものではない

見直すべき津波対策 ～河川津波～ 一片野 修治—(瀬名)

右記の古文書は、千年に一度の規模と言われる明応東海地震（1498年）の当時の記録である。推定によると、地震の規模マグニチュードは8.6。津波高は、焼津で8m、鎌倉で10m。被害区域は畿内から関東にかけての広範囲。

国の発表によると、予想される南海トラフ地震の規模は30年以内発生確率70～80%。マグニチュード9クラス、推定死者32.3万人、静岡県で10.9万人。津波の高さは、静岡市13m、浜松市16m、浜岡19m、下田33mと想定される。150年に一度起きるとされる東海地震と比べると明らかに大規模である。

東京大学地震研究所の郡司嘉信准教授によると、「静岡県は被害想定を1854年の安政地震を目安と

しているらしいが、明応地震の津波の高さは東海地震の3～4倍あり、防災指針は見直すべき」としている。その高さの目安として、沼津戸田の平目平と呼ばれる地点は36.4mあり、地名の由来はそこまでヒラメが打ち上げられたという伝承に基づいている。

見直すべき最大の防災指針は「河川津波の脅威」である。この聞き慣れない津波は、7年前の東北の津波で都市に大きな被害をもたらした。北上川は津波の遡上により内陸部に12km、激流は堤防を越え家屋をなぎ倒し、海岸付近から避難する人々を思わぬ方向から襲った。静岡市の場合、安倍川は地盤が高く遡上はさほどでないが、巴川流域は麻機遊水地まで海拔1～10mの低地盤地帯が広がり、家屋が密集している。人口も多い。

静岡県は第4次地震被害想定において河川の津波情報を公開していない。

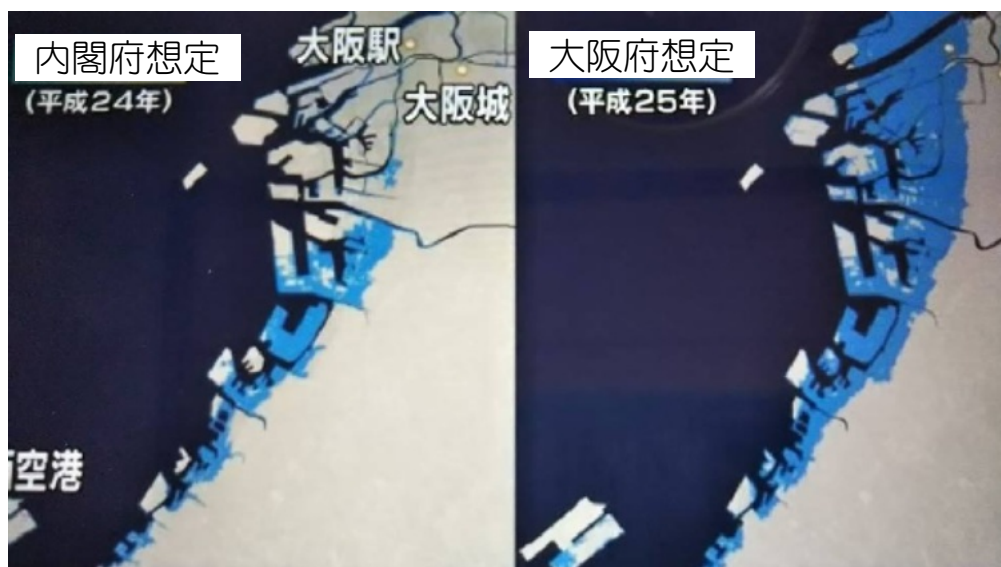
河川の多い大阪府は独自に国の想定を見直した結果、河川津波の影響を考慮し、国の10倍以上の人的被害が見込まれると想定した上での対策を講じている。（7ページ図を参照）

大切な市民の命が失われた後の想定外という見解でなく、静岡県も独自

海辺の堂社仏閣人宅ことごとく水没す
—清水日海記
而溺死者大凡二萬六千人也
—焼津林叟院(りんそういん)記録
水勢入大仏殿破堂舎屋
—相模国鎌倉

古文書の記録

大阪府(右)と内閣府(左)
の想定写真



な見直しをした上で対策を打ち出すべきではないか。また市民も自助努力すべし。市内各所の海拔高を把握しておく事も必要である。

繰り返し銘記しておきますが、静岡市に襲来する津波高は最大13mです。

しかも第一波1mの津波到達時間は、地震発生後わずか4分です。

参考までに市内海拔高、各ポイントを記しておく。

駿河区 中島 10m／登呂 6m／南安倍国道1号 16m／
駿河区役所 9m／静岡南署 11m

葵区 静鉄古庄駅 9m／瀬名川 7m／市役所 22m／静岡駅 15m
千代田静岡刑務所 9m

清水区 清水区役所 2m／長崎 4m／県警清水分庁舎 4m／
東名清水インター 11m／興津 7m

※参考資料 河川津波 知られざる脅威 by NHK

Flood maps by NASA

※自宅や自分が今いる地点が、海拔何メートルであるか調べる方法

◆マピオンで調べる場合

トップページから、調べたい場所を検索または地図上をクリックします。調べたい場所の上で右クリックすると、吹き出しで表示される一番上の住所の下に「(この地点の標高：海拔○m)」と海拔が記載されます。

スマホでは、調べたい場所をタップするだけで地図の上部に「住所(標高：○m)」と表示されます。

竜爪山九条の会12周年のつどいのご案内

竜爪山九条の会が発足して、早いもので12年が経ちました。

今回は、林克さんを講師にお招きします。テーマは「憲法を暮らしの中に生かそう」です。お話を伺った後、ディスカッションの時間をもうけました。皆様、お誘い合わせてご参加ください。（折込チラシをご参照ください。）

と き **2月24日（日）13:30～**

ところ **西奈生涯学習センター（リンク西奈）2階ホール**



うめはら こういち
梅原 鎬市 (著) 『**聖者の心**』
定価 1500円+税 全51ページ

梅原さんは70歳を過ぎて、病気やテニスのやり過ぎで痛めた手のリハビリのために始められた写経。般若心経が一通り書けるようになり、次々にわきあがってくる疑問を調べ始めて、とうとう作秋、本を出版されました。

「般若波羅蜜多」は非武装不戦を謳う日本国憲法第9条だと、本の中で述べておられます。購入をご希望の方は、電話・FAXにてご連絡下さい。054-261-8362（寺井）

1月20日の憲法カフェに梅原さんをお招きします。



【本のカバー写真は、米粒に書かれた般若心経です。一粒に一文字、その上ルビまで振ってあるのです。】

**3000万
署名**

安倍9条改憲 **NO!** 憲法を生かす全国統一署名

「3000万署名」＝
「安倍9条改憲NO！・憲法を生かす全国統一署名」をこつこつと集めて、事務局に届けてくださる方がいらっしゃいます。また、毎月「9」の付く日に、青葉公園などで行われる「市民アクション9の日行動」で、宣伝・署名活動をしておられる方もいます。

「3000万署名」は改憲の発議を阻止するまで続きます。署名用紙をご入用の方は、事務局までお問い合わせください。みなさまのご協力をお願いします。

竜爪山九条の会をつうじて集めた3000万署名は1月17日現在、**累計712筆**です。

編 集 後 記

遅ればせながら、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひします。

今年は会報の発行間隔を空けすぎないように努力したいと思います。

会報への感想、ご意見、投稿をお待ちしております。
(寺井)